街はいつでも～♪
後すがたの～♫
幸せばかり～❤

＊

～ 秋の街歩きは 閑静な荻窪を ぶらり散策 ～





久々に雲一つない秋晴れの一日、田無駅に集合して電車とバスを乗り継いで善福寺川沿いの大正15年創業の老舗蕎麦店「本むら庵」でまずは腹ごしらえ😊食休みをして、総勢10名でいざ散策へGO！

移動の車中から、みなさんリラックスして思い思いに和やかにおしゃべりに花を咲かせ、周囲の景色を楽しみながら、ゆるゆると各自のペースで、さながら遠い昔の懐かしい遠足のような気分で楽しく散策しました♪



荻窪の地名の由来にもなった、古刹光明院の境内の「荻の小径」から商店街を抜け、まず荻窪駅西口から太平洋戦争の開戦を決定づけた「荻窪会談」が開かれた、近衛文麿の旧宅「荻外荘（てきがいそう）」を

訪ねました。



荻外荘の母屋



第二次近衛内閣組閣時に荻窪会談が行われた客間



見学を終えて、続いて訪れたのが、角川書店の創業者で俳人の角川源義の旧宅「角川庭園」。玄関先には何やら不思議な「バナナ？」と思いきや、これが「芭蕉」という樹木と知りびっくり！ 残念ながら、実は食べられないそうです。





太田黒公園

次に向かったのは、音楽評論家・太田黒元雄の旧宅で公園として開放されている「太田黒公園」。入口の門から続く、樹齢 100 年を超えるイチョウ並木は圧巻の光景。



季節がら紅葉にはまだ早かったようですが、心地よい風で銀杏がぼたぼたと雨粒のように盛大に降ってきてビックリ 😲



大きな鯉が泳ぐ回遊式の日本庭園と 1900 年製スタインウェイのピアノも展示されているのですが、ピアノは生憎、当日コンサートが開催されていて見学できず残念！

当初は、この後「西郊ロッチング」を訪れる予定だったものの、いっぱい歩いて咽喉も乾いたので、衆議一決「割愛」！

荻窪駅に戻りながら、創業 50 年を超える名曲喫茶「ミニヨン」で、童心に帰って「クリームソーダ」や「コーヒーフロート」





等々、各自好きな飲み物をいただきながら、個室で和やかに談笑して、本日の街歩きは楽しく無事終了しました！！！







荻窪駅の北口で解散したものの、参加者の大多数が往路と同じバスで、武蔵関駅に戻り電車で三々五々家路へ。

バスの中では、誰かさんの大きなイビキも聞こえて、楽しい大人の遠足の一日でした。

秋の街歩き２０２６『 荻窪周辺をぶらり散策 』

（10 月 18 日　日曜日）

撮影 ： 報告　　宮川 孝之